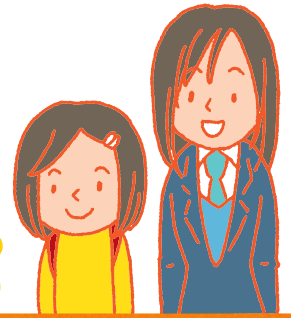


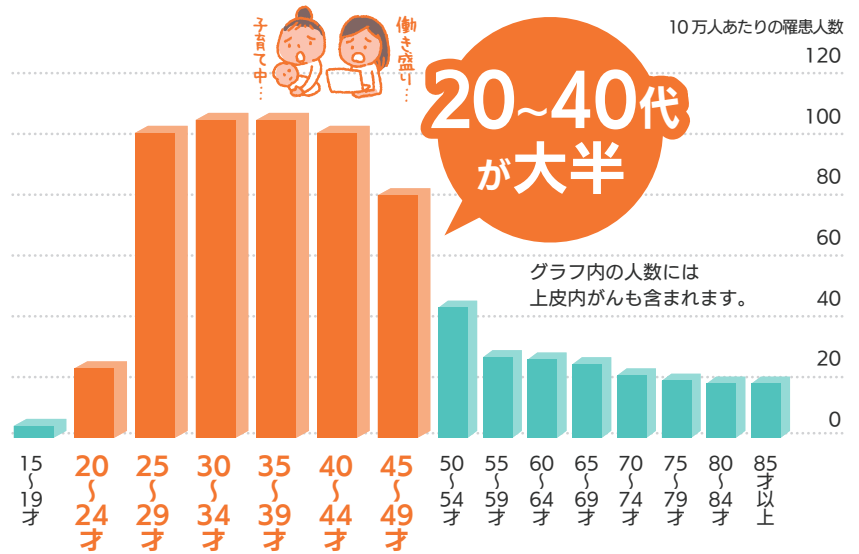
# 高校1年生以下の女の子 とその保護者の方へ



高1の9月までに  
初回を接種すると  
全3回無料で接種完了  
できます

## 子宮頸がんと HPV(ヒトパピローマウイルス)

HPVには100種類以上の型があり、  
その一部に**悪性の病気(がん)の発症に  
関係する型(=ハイリスクHPV)**があります。  
このハイリスクHPVが  
子宮の入り口(=子宮頸部)の細胞に  
長い期間感染すると、数年から十数年かけて  
子宮頸がんを発症してしまうことがあります。  
また、**尖圭コンジローマ**という性感染症の  
原因にもなります。



子宮頸がん  
で亡くなる人数  
**8人/日**

治療のため  
多くの女性が  
**子宮摘出**

### 女子へのHPVワクチンの効果

HPVワクチンを接種すると、HPVに対  
する「抗体」が体内でつくられ、HPV  
の感染を防ぎます。

17歳までに4価のHPVワクチン(4種類  
のHPVを防ぐ)を3回接種することで、  
将来の**子宮頸がんの約88%を予防**  
できます。



### HPVワクチンの安全性

HPVワクチンは2019年までに**世界で  
合計約8億回以上**接種されている安全なワクチンです。

数多くの研究で、「HPVワクチンは特別に副反応  
(ワクチンの副作用)が起こりやすいわけではない」  
ことが確かめられています。

日本でも、名古屋市で大規模な調査が行われた結果、十分な安全性  
が確かめられたことが2018年に報告されています。



## HPVワクチンの公費助成と接種方法

HPVワクチンは国の定める定期予防接種で、  
「**小学校6年生~高校1年生の女の子**」は無料で接種できます。  
定期予防接種の予診票の受け取り方は、自治体により異なります。  
接種する際には、まずは**自治体HPなどで確認し**、  
指定の医療機関に予約を取って受診しましょう。



予診票の受け取り方を  
自治体HPなどで確認

指定の医療機関  
を予約

無料  
接種

### 国内外の公的機関の見解

日本の主要な公的機関(日本産科婦人科学会、日本小児科学会、国立がん研究センターなど)はいずれも、HPVワクチンの接種を  
推奨しています。また、主要な国際機関や組織(世界保健機関 [WHO]、米国疾病予防管理センター [CDC]、米国産婦人科学会  
[ACOG]、オーストラリア政府など)も HPV ワクチンの安全性を認めており、接種を推奨しています。